

トップ 政治 國際 社会 経済 スポーツ エンタメ 地域 ライフ 予定 メディカル

時事ドットコムニュース PR TIMES > 第四回・香川県開催「第16回JCF学生映画祭」学生ムービー部門、ショートムービー部門の入賞作品が決定！2020年12月12日・13日、高松市において表彰式・トークイベント・入賞作品上映会を開催！

株式会社地域活性化大学

第16回JCF学生映画祭は、新型コロナウイルスの感染拡大防止に配慮し、当社、オンラインでの開催を決定しておりますが、各地で経済を始めた社会活動の回復を模索している中、withコロナ時代においては、各地で実行委員会が運営するオンライン開催、諸団体のご後援を賜り、社会文化活動とのバランスをとりながら感染拡大防止に努め、来る12月12日、13日に高松市の2会場で開催予定でございます。

この度、今年度の学生ムービー部門、ショートムービー部門の2部門の4作品ずつの入賞作品が決定致しましたので、下記の通りご報告申上げます。

現在、新型コロナウイルス感染症第三波の到来で日々感染予防が重要な中、十二分な対策を講じながら、開催されるトークイベント等に関しては登壇者のオンライン参加や、上映会場の会場時間での換気等を徹底し、12月12日、13日の両日、JCF学生映画祭として初の四国開催となる香川県高松市で、入賞作品8作品の上映を含むプログラムとして開催いたします。

将来を担う世代である学生の作品を通じて、開催地である香川県、高松市はもとより、コロナ禍の日本に、少しでも元気を与えられることを目指して参ります。

学生作品のオンライン部門については、全国から応募総数104作品の中から、学生ムービー部門(45作品)、ショートムービー部門(59作品)、各4作品ずつの入賞者が最終選考対象となっており、この中からグランプリを含む8作品が決定いたしました。

2020年12月12日(土)に、入賞作品上映、トークイベント等を開催いたします。

下記に詳細をご案内いたしますので、よろしくお問い合わせ下さい。

各部門入賞作品

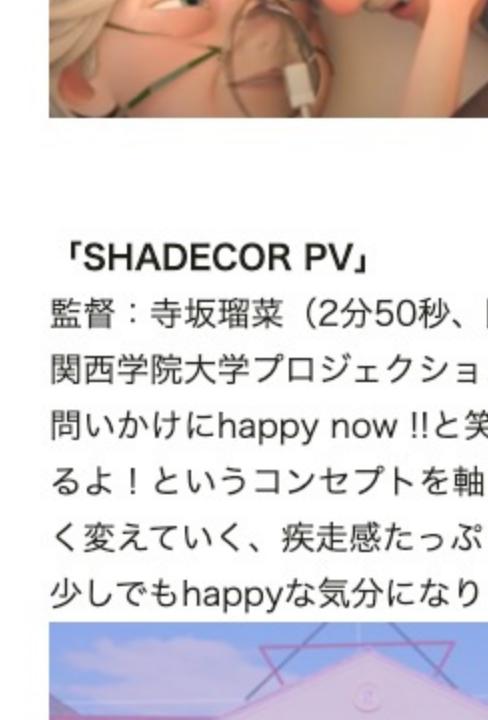
	学校名	監督名	代表	年齢	タイトル	尺(分)
学生ムービー部門	佐賀大学	西 丈太郎	23	クリスマス・グリーティング	21	
	東京藝術大学	井上天海	22	黒に色を読む	25:10:00	
	青山学院大学	柴田文哉	23	セシル	30	
	東北芸術工科大学	小山山生	22	隣なる恋の計算	30	
	武蔵野美術大学	植 伸	24	ACCEPT	3:18	
ショートムービー部門	国際基督教大学	寺尾葉	21	SHADECOR PV	2:50	
	日本大学	福地和也	21	私の好きなこと	3:37	
	名古屋大学	平野香音	21	されない	4:14	

■学生ムービー部門

「クリスマス・グリーティング」

監修：西道一郎（21分、佐賀大学）

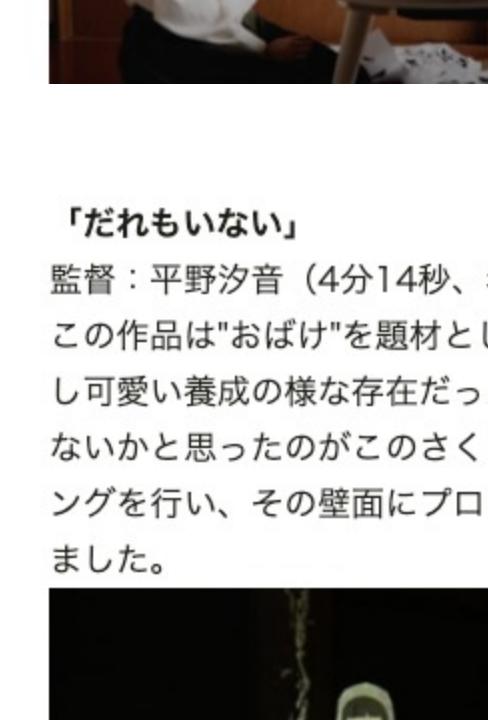
ある國で内戦が起き、巨大な壁によって東西に分断された。インターネットは監視され、二国間で連絡を取り合おうとするものは処刑された。そこで、メッセージ動画を違法で配達する「メッセンジャー」と呼ばれる男が現れた。男は、流出を恐れてアノログデータに動画を保存し、それを運んだ。しかし、ある事件が起り、動画は全世界に流れる。流れ出した動画に映っている人々や、男の運命は・・・



■「黒に色を見る」

監修：升田天海（25分11秒、東京映画・俳優&放送芸術専門学校）

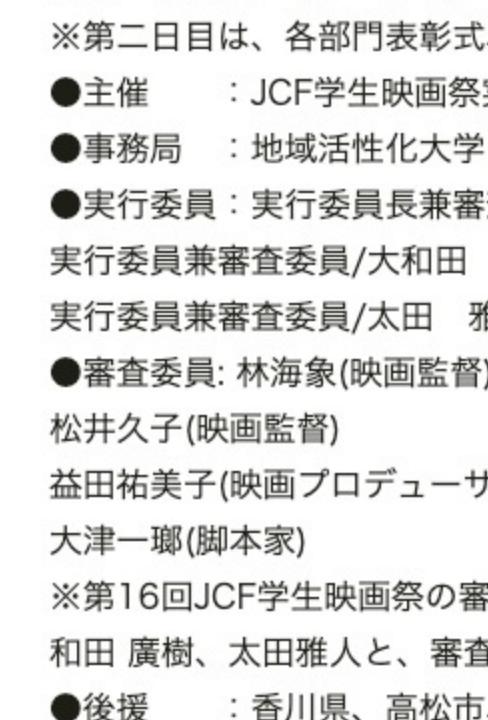
画家志望の青年、黒瀬広人は自分の表現が評価されないと悩んでいた。ある日、黒瀬は晶原にいる絵材屋の庫で、佐倉奈乃という普通の女子高校生と出会う。この出会いをきっかけに、2人は自分の中にある物語のたらえ方をみつめなおすことになっていく。



■Sister

監修：皆賀文哉（30分、青山学院大学）

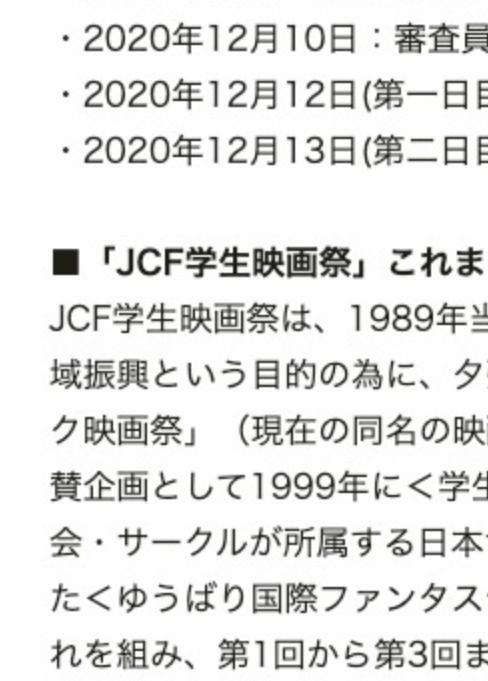
血の絆がついた姉弟を描いたヒューマンラブストーリー。主人公の藤原優太は妹のさやかに対する恋愛感情に心付く。妹と違う最も愛する人の同居生活に驚く想いを告げられず苦笑する。優太は妹に想いを告げられないまま死んでしまい・・・



■「娘ならぬ恋の目論見」

監修：小山和生（30分、東北芸術工科大学）

ある大学に通う根岸な大学生Tは、図書室で文学部のマンドリンS子に会う。図書室の本を利用した暗号でS子に思いを伝えようとするT。果たして想いはつたわるのか。



■ショートムービー部門

「ACCEPT」

監修：楊翔安（3分18秒、武藏野美術大学）

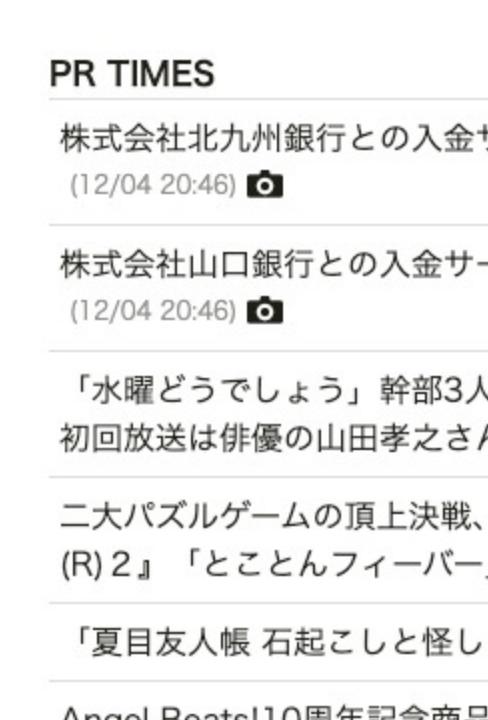
大切な人が亡くなってしまう最後の一瞬。「ありがとう」という気持ちになった。いなくならないでほしい。押し付けられた深い悲しみから生まれた感情だった。全てを認め、死を受け入れる。悲痛と感動の想い。



■「SHADECOR PV」

監修：寺坂栄菜（2分50秒、関西学院大学）

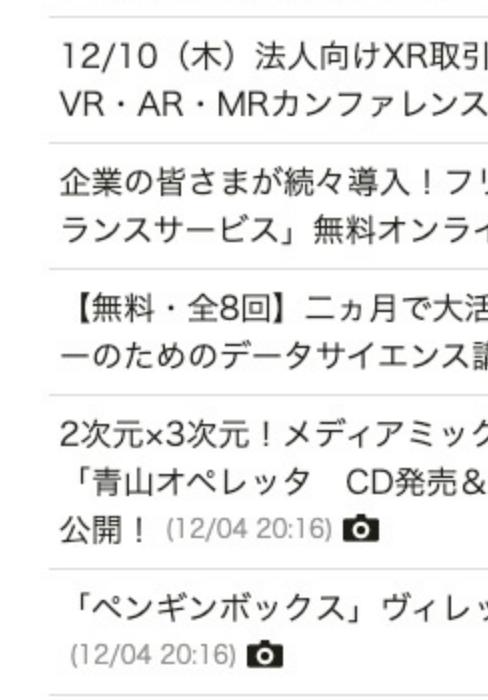
関西学院大学プロジェクトショミンバッピング制作団体のPVです。Are you happy now?の問い合わせにhappy now!!と笑顔で応える人々。ここでは誰もが元気いっぱいhappyになれるよ!というコンセプトを胸にしています。走り出した自分の手で世界をキラキラ見るく愛でていく。疾患たどりの映像を楽しめるように工夫しました。観て下さる方が少しでもhappyな気分になりますよ。



■「私の好きなこと」

監修：福岡和子（3分57秒、日本大学）

新型コロナウイルスで私自身が陥った感覚を捉え直そうと思うで書いて書いた作品です。主演の私はまださきと力を合わせリモートで制作しました。



■「だれもない」

監修：平野千音（4分14秒、名古屋大学）

この作品は「おばけ」を題材としました。「おばけ」というものは本当にこわいものなのか。もし可愛い養成の様なのがどうたらわたしたちの「おばけ」に対するイメージもかわるのではないかと思ったのがこのさやひんを作成したきっかけです。実在する部屋に夜のライティングを行い、その壁面にプロジェクトショミンバッピング制作されたアニメーションを撮影することで制作しました。



■「第16回JCF学生映画祭」開催概要

●名称 : 第16回JCF学生映画祭

(www.jcf.jp.com/16th/)

●応募期間 : 2020年6月1日(月) ~ 11月10日(火)

●開催日・場所: 第一日目・2020年12月12日(土)

会場: 香川県高松市鷹町5824-4 純愛の聖地庵・庵・観光交流館

第二日目 : 2020年12月13日(日) 表彰式

会場: 香川県高松市南町1-4 富田ビル5F ゲットホール

*第一日目は、コベティシヨウ作品上映、トークイベント等を開催予定

*第二日目は、各部作品表彰、グランプリ作品上映、トークイベント等を開催予定

●主催 : JCF学生映画祭実行委員会

●事務局 : 地域活性化大学

●実行委員・実行委員兼審査委員/高 秀蘭 (映画プロデューサー)

実行委員兼審査委員/大田 廣樹 (映画プロデューサー)

●審査委員: 林 奥 (映画監督)

松井久子 (映画監督)

益田裕美子 (映画プロデューサー)

大津一郎 (脚本家)

*第16回JCF学生映画祭の審査は、実行委員兼審査員の高秀蘭、実行委員兼審査員の大津一郎、太田廣樹と、審査員として佐倉奈乃の7名で実施いたします。

*後援 : 香川県、高松市、四国新聞社、RNC日本放送、TSCテレビせとうち、株式会社エフエム香川、KSB系列内外海放送、CMSラジオメディア四国

*協力 : NEW WAVE HALLリースキッドTARGET

*制作運営: JCF学生映画祭運営事務局 - The Japan Project

*実行内容 : 1.コバティシヨウ作品上映、トークイベント等を開催予定

<映画/映画部門> 1.学生ムービー部門

2.ショートムービー部門

2.表彰式

3.トークショーエベント

●開催スケジュール

・2020年6月 : 募集応募期間11月10日まで

・2020年11月 : 募集応募による最終審査で各賞を決定

・2020年12月10日(第一日目) 表彰式

・2020年12月13日(第二日目) 表彰式・受賞作品上映・トークイベント等

・2020年12月12日(土) 表彰式

・2020年12月13日(日) 表彰式

・2020年12月12日(土) 表彰式

・2020年12月13日(日) 表彰式